

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい 若葉教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人と保護者がともに活動内容を検討し、スケジュールを立てることで、主体的に取り組める支援体制が整っている。	活動開始前にスケジュールの確認を行うことで、見通しを持って課題に取り組めるよう支援している。また、良い点や努力している点を具体的に認め、適切に称賛することで達成感を高め、次の目標や活動への意欲向上につなげている。	時間の見通しを持って行動できるよう、スケジュール確認と併せて時計を意識した行動を促し、自発的に活動を進められる力を育てていく。また、適切な評価と称賛を継続し、自己肯定感の向上と主体的な行動につなげていく。
2	刺激への配慮を行い、子どもが自ら考えて行動できるよう、集中しやすい環境を整えている。	パーテーションの活用により視覚的刺激を軽減し、集中しやすい環境を整備している。イラストや指示カードを用いて具体的な行動を視覚的に提示し、理解しやすい支援を行っている。また、不要な声掛けを控え、視覚的な支援を中心とした関わりを行っている。	利用者同士の配置にも配慮し、より安心して集中できる環境づくりを継続していく。
3	保育所等訪問支援と連携することで、家庭・事業所・学校をつなぐ包括的な支援ができています。	家庭・事業所・学校と連携し、情報共有を行いながら、一貫性のあるきめ細やかな支援を実施している。	今後も連携体制を維持・強化し、利用者の困り感の軽減や生活場面での安定につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望者が多く、定員の関係により、必要とされる方すべてに十分な支援を提供できない状況がある。	早期支援の重要性が広まり、利用ニーズが高まっている一方で、定員や受入体制に制約があるため。	早期支援の重要性について引き続き周知を行うとともに、関係機関との連携を図りながら、適切な支援につながるよう情報提供や調整を行っていく。また、現在利用している子どもに対しては、「できた」「認められた」と感じられる経験を積み重ねることで、自己肯定感を高め、自信を持って生活できるよう支援の質の向上に努めていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども支援室みらい 若葉教室
------	----------------

公表日 令和 8 年 3 月 27 日

利用児童数 令和 8 年 2 月 14 日

回収数 4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					活動内容や年齢に応じたスペースの使い分けを行い、引き続き安全で活動しやすい環境づくりに努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					適切な職員配置を維持し、より安心して過ごせる支援体制を整えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					子どもの特性に応じた支援の質を維持・向上させ、専門性の高い支援を提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					保護者の意向や子どもの実態を丁寧に把握し、より適切な個別支援計画の作成に努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					活動内容が固定化しないよう工夫を継続し、子どもが主体的に取り組める活動を充実させていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					面談や助言の機会を継続し、保護者の不安や悩みに寄り添っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					各種マニュアルの周知と訓練を継続し、安全管理体制の強化に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					定期的な訓練を継続し、非常時に備えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				記入無し 1	子どもが安心して通所できるよう、環境や関わり方を継続的に見直していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1			記入無し 1	子ども一人ひとりの興味や関心に応じた活動を取り入れ、「楽しい」「また来たい」と感じられる支援を充実させていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				記入無し 1	今後も丁寧な支援と関わりを継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい 若葉教室				公表日	R8年 3 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		活動内容や利用人数に応じたスペースの使い分けをさらに工夫し、より活動しやすく安全な環境づくりを進めていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		適切な職員配置を維持し、より安心して過ごせる支援体制を整えていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		児発だけでなく放デイも保育訪もやっているのではないと思う。	複数事業の特性を活かしながら、環境設定や構造化の工夫を進めていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			清潔で心地よい環境を維持し、活動に応じた過ごしやすい空間づくりを継続していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		職員間での意見共有の機会をさらに充実させ、現場の気づきを継続的な業務改善につなげていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		外部の視点も参考にしながら、より客観的で質の高い事業所運営につなげていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		職員一人ひとりの専門性向上に向けて、研修機会の充実と学びの共有をさらに進めていきます。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		支援計画の作成において、関わる職員全体での検討や共有をより深め、支援の一貫性を高めていきます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		日々の観察に加え、より客観的な視点でのアセスメント手法の活用を進め、支援の精度向上につなげていきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	未記入1	支援計画において、「本人・家族・移行・地域」の視点をより明確にし、支援内容の充実を図っていきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8					

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		子どもが主体的に取り組める多様なプログラムを充実させていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		個別活動と集団活動の目的をより明確にし、成長段階に応じた支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		モニタリングの内容や見直しの視点をさらに明確にし、より効果的な支援改善につなげていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		どちらとも言えない1	子どもが選択できる場面をさらに増やし、自己決定力を育てる支援の充実を図っていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	未記入1	関係機関との定例連絡を強化します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		就学前の関係機関との情報共有をさらに充実させ、より円滑な移行支援につなげていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		未記入1、該当者なし1	将来的な移行支援を見据え、情報提供や連携の仕組みづくりを進めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7	未記入1	児童発達支援センターとの連携をさらに深め、専門的な助言を支援に活かしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	未記入1	地域との関わりをさらに広げ、子どもが地域の中で育つ経験を充実させていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		協議会等への関わりを通して、地域との連携や情報共有の充実を図っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		未記入1	保護者との情報共有をより丁寧に行い、共通理解をさらに深めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		家族支援の機会をさらに充実させ、保護者の安心感と対応力の向上につなげていきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者やきょうだいの交流機会についても、ニーズに応じた形で充実を図っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	発表会	発表会等に加え、地域との関わりを日常的に広げていく取組を進めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		未記入1	アレルギー対応等の安全管理体制の充実を図っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		未記入1	身体拘束に関する基準や対応について、共通理解をさらに深め、適切な運用につなげていきます。	